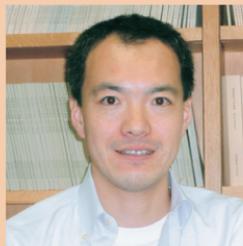


名和 賢美 准教授

【なわ けんみ】

高卒まで山形県酒田市で、その後は小樽と札幌で1年を、さらに東京で18年を過ごす。群馬県民となり6年目を迎えるが、いまだ車の免許も取らず、三人乗り自転車愛用。自他共に認める「育メン」である。



- 社会学Ⅰ・Ⅱ
- 社会科学基礎論
- 社会思想史Ⅱ
- 学問研究入門

研究テーマ

民主主義についての考えをきちんと見つめ直し、どのようにすればその理念を日本の社会で実践に移すことができるか、ということを生涯かけて調べようとしています。今はまだこの研究のスタート段階で、現代民主主義の起源である古代ギリシアについて研究しています。α(アルファ)、β(ベータ)、γ(ガンマ)、……という2500年以上も昔のギリシア語の文字で書かれた書物を読み解き、ギリシア人の民主主義についての考えを探っているのです。

そしてもう1つ、調べていることがあります。それは、皆さんと大いにかかわりのあることで、大学における教養教育の役割です。特に、1年次前期における教養科目の教育内容について考察しています。

一見すると全く異なった研究テーマですが、若者(=近い将来の主権者)に対する市民教育は、実は民主主義研究における最重要課題の1つなのです。

担当科目

私の担当はすべて教養科目ですが、いずれも私自身の教養教育研究をもとに実践しています。受講ノートを採点したり、作文を毎週添削したり、と全国的にとっても珍しい講義かもしれません。学生の皆さんも大変でしょうが、教えている私も、正直しんどい毎日です。

なお注意してほしいのは、「学びたくなった時に学べば良い」科目ではないということです。以下のような段階的履修をお勧めします。

▽「学問研究入門」や「社会科学基礎論」は、1年前期に。

▽「社会思想史Ⅱ」は、1年後期に。

▽「社会学Ⅰ」や「社会学Ⅱ」は、2年もしくは3年に。

ゼミの内容

ゼミ生は、現代社会の諸問題の中からどうしても改善させたいと強く願うことをテーマに選び、調査研究と研究発表を重ねていきます。そして4年の冬には卒業論文を完成させ、卒論発表会の場で具体的な改善策を提言します。また、卒論作成と並行して、プレゼンテーションについての古典的な理論を学び、言いたいことを分かりやすく伝える発言力も高めていきます。

各講師のひとこと



- ・この講義は前評判通りきつかった。時間は多く取られるし、労力も使った。とにかくきつかった。
- ・一言でまとめるとしたら、「疲れた」ですね。本当にこんな疲れた授業は初めてじゃないかと思います。
- ・何時間かけただろうか、この科目に。他の科目の数倍もしくは数十倍の時間を要したと思う。それほどこの科目は、想像を絶するものだった。
- ・やっていることは、はっきり言って単位数2のものではない。おそらく10であっても途中でやめてしまう人が何人も出るであろう科目だった。

2011年入学教養科目受講生

大学教育と民主主義の大いなる関係